

教科	社会科	学年	1年
----	-----	----	----

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【使用教材・副教材、使用教室・指導形態】

◇地理教科書(帝国書院)、地図帳(帝国書院)
 ◇歴史教科書(東京書籍)、東京都版中学歴史資料集学び考える歴史(浜島書店)
 ◇共通：3観点評価チェック 15分 社会1年(明治図書)
 ◇各教室 ◇105時間のうち、65時間を地理、40時間を歴史とする。

【評価の観点と資料】

観 点	評 価 規 準	評 価 資 料
知識・技能	社会的事象に関する有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追及し考察した過程や結果を適切に表現している。社会的事象の意義や特色、相互の関係を理解し、その知識を身につけている。	◇定期考査 ◇小テスト
社会的思考・判断・表現	社会的事象から問題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化をふまえて公正に判断している。また考察・判断した過程や結果を適切に表現している。	◇定期考査(主に論述問題) ◇宿題(税の作文等) ◇レポート
関心・意欲・態度	社会的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追求し、より良い社会を考え、自覚を持って責任を果たそうとしている。	◇定期考査(主にニュース) ◇授業への取組(発言等) ◇宿題・ノート等提出物

【授業の進め方と学習のポイント】

- ① 日頃から忘れ物をせず、宿題などの提出物は、必ず提出期限を守る。
- ② 授業は受け身でなく、問いかけに反応したり、発言したりするなど積極的に参加する。
- ③ 単元の問いや、それを追究するためのテーマを意識し、調べ、スライドにまとめることができるようにする。そして、調べたりまとめたりする学習から、単元の問いに対して様々な視点や角度から考えて自分の意見を表現できるようにする。

【家庭学習のポイント】

- ① 日頃から新聞やテレビ番組などでニュースに親しむ。特に地理ではニュースで出た地名を 地図帳で調べる習慣を付けると良い。
- ② 副教材等を活用して学習した問題は、答え合わせをしっかりと行い、特に間違えた箇所をはっきりさせる。(できなかった、間違えた部分は消さずに赤で直す)
- ③ テスト前は、副教材や学習したことや小テストの問題を繰り返し解く。そして、調べ学習のまとめのポイントを教科書等で確認する。
- ④ 副教材「3観点評価チェック 15分」で、地理・歴史の復習をして定期考査や入試に備える。

【年間指導計画（地理的分野：年間60時間）】

月	時間	単元名	主に学習すること	学習のねらい
4月	6時間	1編 世界と日本の姿 1章 世界の姿	(授業の約束事等) 地球のすがた・地球儀と世界地図・世界の国々と地域区分	(1年間の学習方法を知る) 世界を地理的に認識するための座標軸として、地球儀や世界地図を活用して、大陸と海洋の形状や分布を取り上げ、地球規模での位置関係をとらえるための知識と技能を身に付ける。
5月	9時間	2編世界のさまざまな地域 1章世界各地の人々の	日本の位置と領域・時差・都道府県の区分 寒い地域・温暖な地域・山・低い土地などの生活・宗教	日本の国土の位置及び領域の特色と変化を世界的な視野から多面的・多角的に考察し、日本の現状を位置と領域の面から大観する。 地域で異なる自然環境の違いを写真や映像資料、雨温図、統計資料からとらえる。
6月	8時間			
7月	4時間			
9月・10月	8時間	3章 世界の諸地域 6節 オセアニア州 1節 アジア州	強まるアジアとの結びつき 急速な都市の成長と変化	アジア州との結び付きに関する学習テーマを設定し、意欲的に追究する。 「経済の成長」に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究する
11月	5時間	2節 ヨーロッパ州 3節 アフリカ州	国どうしの統合による変化 特定の生産品にたよる生活からの変化	「国家間の統合による変化」に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究する。 特定の生産品に頼る生活からの変化に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究する。
12月	5時間	4節 北アメリカ州	盛んな農業や工業の特色	アメリカ合衆国を中心とした産業の発達に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究する
1月	5時間	5節 南アメリカ州	開発の進展と環境問題	「開発の進展と環境問題」に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究する。

2月	5時間		
3月	5時間		

【年間指導計画（歴史的分野：年間45時間）】

月	時間	単元名	主に学習すること	学習のねらい
4月	2時間	1章 歴史の流れをとらえよう	(授業の約束事等) ◇歴史のとらえ方や調べ学習の方法を学ぶ	(1年間の学習方法を知る) ◇大きな流れと人物を復習し、また身近な地域の歴史に触れ、歴史学習への意欲を高める ◇調べ学習の方法を学ぶ
5月	4時間	2章 古代までの日本	◇人類の出現と進化 ◇古代文明のおこりと発展 ◇中国文明の発展	◇人類の誕生と進化から、人類の特徴を考える ◇古代文明が起こった地域の特色、中国やギリシャ・ローマ文明の特色と影響について考える
6月	6時間	1節 世界の古代文明と宗教のおこり C	◇ギリシャ・ローマの文明 ◇宗教のおこりと三大宗教	◇三大宗教のおこりについて、地域の特色から考える
7・8月	4時間	2節 日本列島の誕生と大陸との交流	◇日本列島の誕生と縄文文化 ◇弥文生文化と邪馬台国 ◇大王の時代	◇日本の成り立ちはじまりに関心を持つ ◇縄文・弥生時代のくらしの変化をつかむ ◇日本の統一国家が生まれた経過を整理して考える
9月	6時間	3節 古代国家の歩みと東アジア世界	◇聖徳太子の政治改革 ◇大化の改新 ◇律令国家の成立と平城京 ◇奈良時代の人々のくらし ◇天平文化 ◇平安京と東アジアの変化 ◇摂関政治と文化の国風化	◇朝鮮・中国との交流の歴史を学ぶとともに、渡来人の文化の影響を考える ◇律令制度によって成立した古代国家のようすをつかむ ◇朝廷の政治と地方の支配・藤原氏の栄華を多面的にとらえる ◇仏教と文化の特色を理解する

10月	6時間			
11月	6時間	3章 中世の日本 1節 武士の台頭と鎌倉幕府	<ul style="list-style-type: none"> ◇武士の成長 ◇武家の政権の成立 ◇鎌倉幕府の成立と執権政治 ◇武士と民衆の生活 ◇鎌倉時代の文化と宗教 	<ul style="list-style-type: none"> ◇武士のおこりから武家政権の確立を通して封建制度のしくみを理解する ◇執権政治の進展と武家政権の強化を理解する ◇仏教と文化の特色を理解する
12月	5時間	2節 東アジア世界との関わりと社会の変動	<ul style="list-style-type: none"> ◇モンゴルの襲来と日本 ◇南北朝の動乱と室町幕府 ◇東アジアのとの交流 ◇産業の発達と民衆の生活 ◇応仁の乱と戦国大名 ◇室町文化とその広がり 	<ul style="list-style-type: none"> ◇モンゴルの襲来のもつ歴史的意義をとらえる ◇南北朝の内乱をへて、守護大名が力をつけた理由をつかむ ◇民衆が成長していくし過程を理解する ◇仏教と文化の特色を理解する
1・2月	6時間			